



## 所信声明

# 助産規制と女性との協力関係

## Midwifery Regulation and Collaboration with Women

### 背景

助産専門職は、どの国においても法律の範囲内で自治自立であるべきだが、ケア提供者の質に影響を受ける女性の立場も、助産規制を策定・監督する組織に含まれていることが適当である。ICM には、女性の権利全般と、特に、女性と新生児のケアについて具体的に規定する意思決定のプロセスに女性が関与する権利を明確に支持する世界基準、ガイドライン、所信声明など多数の文書がある。

助産の規制において女性と協力することによって、特に以下の女性の能力を高めることができる<sup>1</sup>。

- 女性が主な利用者である助産サービスの設計と提供に影響を及ぼし、経過を追うこと。
- 健康と質の高い助産サービスに対する権利について、他の女性とその家族を教育し、エンパワーし、参画を促すこと。
- 妊産婦・新生児への質の高いヘルスケアの提供について、経過を追い、政府、開発パートナー、その他の利害関係者の説明責任を求めるために、地域社会に草の根のイニシアチブを構築すること。

### 所信声明

ICM は、どの国においても、助産規制を監督・管理する運営機関に専門家でない女性を含めることの重要性を認識する。

ICM は、国内のケアの質を高めるために、関係する女性団体から代表を選出することを推奨する。

---

<sup>1</sup> Adapted from WHO Immunization

ICM は、政府および、助産規制の改訂または草案に関わる人々に対し、その規制の内容や国内での適用について、幅広い女性の意見を求めることを要望する。

## 会員団体への推奨

ICM は、会員団体に以下の行動を求める。

- 自国の助産を規制する機関と協働し、規制の整備・見直し・実施において女性との協議の必要性を訴えること
- 目標の実現に向けて女性と協働すること。

## 関連 ICM 文書

- ICM. 2014 所信声明 女性と助産師のパートナーシップ
- ICM. 2014 所信声明 助産業務を規定する法律
- ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理綱領
- ICM. 2010 助産規制の世界基準（2013 年改訂）
- ICM. 2016 規制のツールキット

## その他の関連文書

Kreiner M; 2009: Delivering Diversity: Newly Regulated Midwifery Returns to Manitoba, Canada, One Community at A Time. Journal of Midwifery & Womens'Health Vol 54, issue 1 pages 1 -10

Price K, Patterson E, Hegney D- 2006: Being strategic: Utilising consumer views to better promote an expanded role for nurses in Australian general practice. Collegian; Journal of the Royal College of Nursing Australia, Vol 12; Issue 4; pages 16-21

## 1999 年マニラ国際評議会にて採択

2017 年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定 : 2023 年

2017 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM 発行文書の原文については、ICM が著作権を有します。

日本の ICM 加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICM の許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者である ICM と日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICM に連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会 <http://www.midwife.or.jp/> に連絡し使用許諾を得てください。